

教科名	国語	科目	国語	授業時間	3時間
-----	----	----	----	------	-----

### 1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語 3」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習 3」（東京書籍）

：「国語の学習 3」（東京書籍）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）

問題集：「練成テキスト 中3国語」（育伸社）

### 2. 授業の目標および内容

「読む」という言語活動を総合的に行い、周辺知識を蓄えながら、主体的な言語の手引きとして自覚を持たせることにより、より豊かな人格形成を目指します。また、古典文学作品に触れることで、日本の言語文化に対する理解を深めます。その前提として、読解力の基礎となる語彙力や知見を養成するために、各種の小テストを行います。

### 3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

#### ※内容・難易度について

① 定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

### 4. 課題・補習について

夏期休業中の課題は、問題集や読書感想文の提出などです。

### 5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	①俳句の読み方、味わい方 ①俳句五句 ①生命は  ①二つのアザミ ①文章読解演習 ②形 ②百科事典少女  ②敬語・カタカナ語  ②文章読解演習	○俳句に詠まれた情景や心情を想像し、俳句を音読して読み味わう。 ○季語や切れ字など俳句の規則を理解する。 ○詩を鑑賞し、自分のものの見方を広くする。 ○修辞法の総復習を行う。 ○対比構造に意識し、筆者の主張を読み取る。 ○問題集を用いて俳句・随筆の読解演習を行う。 ○場面設定を把握し、人物の考え方や心情の変化を読み取る。また、表現方法に着目し、作品を読み味わう。 ○敬語・カタカナ語を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて随筆・小説の読解演習を行う。	＊カタカナ語・敬語に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
2	③絶滅の意味 ③幸福について       ③慣用句・四字熟語(2)  ③文章読解演習  ④言葉の移り変わり  ④万葉・古今・新古今  ④おくの細道  ④論語  ④基本的な古語  ④文章読解演習	○文章と図表を結びつけて読み、図表の役割と効果を考える。 ○接続語や指示語を理解し、段落の役割や段落同士の関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ○対比の構造、具体と抽象、意見と根拠などに注目して、筆者の意見を読み取る。 ○会話形式の文章に慣れ、それぞれの意見を読み取るとともに、多角的視点を養う。 ○慣用句・四字熟語を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて説明文・論説文の読解演習を行う。 ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。 ○和歌が詠まれた背景や作者の心情に着目し、和歌の世界に親しむ。 ○和歌の技法を理解する。 ○歴史的背景を踏まえて作者の思いを捉える。 ○構成や表現の特徴を考える。 ○孔子の考え方を捉え、自身の体験や事例に当てはめて考えを深める。 ○基本的な古語を体系的に学習し、高校の学習につなげる。 ○問題集を用いて古典・説明文・論説文の読解演習を行う。	＊慣用句・四字熟語、基本的な古語に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
3	⑤故郷    ⑤いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災 ⑤語彙力の増加 ⑤文章読解演習	○場面設定を捉え、登場人物の心情の変化に着目して、作品を読み深める。 ○過去と現在を比較し、人間関係の変化に着目する。 ○写真や新聞記事、キャプションの役割や効果を理解し、内容を読み取る。  ○語彙を増やし、高校の現代文につなげる。 ○問題集を用いて小説の読解演習を行う。	＊語彙に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。